

元気都市 四日市へ!!!

第48号

森ともひろ通信



あなたは 5 7 8 9 1 9 人目の読者です。

47歳 四日市市長/公認会計士

《令和8年度当初予算が成立。過去最大規模に》 『こどもの笑顔を真ん中に 未来へつなぐひとづくりまちづくり予算』

令和8年度の一般会計の予算規模は1,500億円を超え、3年連続で過去最大を更新しました。また、特別会計や企業会計等を加えた当初予算総額も3,200億円を超え、6年連続で過去最大となりました。四日市市は近年、毎年700億円を超える税収に支えられ、財政が健全な状況が保たれています。今年度においても引き続き、子ども達の笑顔があふれる機会の創出や子育て・教育環境の充実による「ひとづくり」、そして、都市機能を高め、まちの魅力を創出し、選ばれるまちに繋げる「まちづくり」を積極的に推し進め、「未来への投資」に取り組んでいきます。



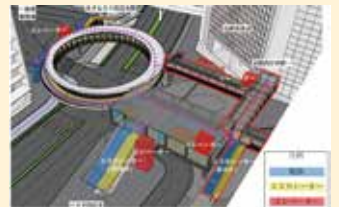
今年度は、子ども達への施策として、公立小中学校の体育館等への空調設備工事の完了、小学校の給食無償化がスタート、更に、文化会館の再開に合わせて、小中学生を対象に様々な分野の体験プログラムを提供する「こどもみらいクーポン事業」も新たにスタートします。また、「中心市街地再開発プロジェクト」も大きく進捗し、その他にも霞ヶ浦野球場整備、温水プール等がリニューアルオープンします。

【再開発プロジェクト】『直線デッキ』が完成し新たな動線が誕生

昨年12月20日、『円形デッキ』が供用開始となりました。愛称募集には、約5千人の方から1万件を超える応募があり、最終的な市民投票により愛称が『よんまるテラス』に決まりました。『よんまるテラス』が今後、本市のシンボルとなり、市民の皆さんに愛される空間になることを願っています。

そして、現在、『よんまるテラス』と近鉄四日市駅・百貨店を結ぶ「直線デッキ」の工事を進めており、今年6月の完成を予定しています。

「直線デッキ」と『よんまるテラス』が繋がると中央通りの南北における新たな動線が生まれ、将来的に三重県最大のバスターミナルとなる『パスタ四日市』とも繋がり、回遊性や都市機能の向上に大きく寄与することになります。



■『JR四日市駅前大学設置』基本設計等の整備予算が可決

『中心市街地再開発プロジェクト』において、JR四日市駅前開発の核となるのが『大学拠点等整備事業』です。当事業の関連予算が、2月定例月議会で可決され、基本設計等の事業が本格的に始動していきます。令和14年度開学予定となります。

現在、本市は、力強い地域経済に支えられ、恵まれた税収と産業規模を維持し、東海エリアの西の中核都市として成長を続けています。ただし、現在の状況に甘んじ、行政として無策であれば、時代の流れが激しいこの時代に、今のものづくりを基盤とした日本有数の産業都市としての地位を維持していくことは難しくなります。

この『大学拠点施設整備事業』は、産官学が一体となる、当エリアにおけるものづくりを支える人材の育成、輩出につながる仕組みの構築という点で、本市の産業都市としての成長を後押しする大きな一手になります。



■ショート動画『ただ今絶賛四日市改造中「♪どうなる四日市」』20万回再生でバズる

四日市市では、若い世代にも、市の取り組み・施策を知ってもらおうきっかけを作ろうと、毎週水曜日に多様な切り口での「ショート動画」の配信を行っています。その動画の一つで、本市が現在進めている「中心市街地再開発プロジェクト」を紹介する『ただ今絶賛四日市改造中「♪どうなるよっかいち」』が、Instagramのリールで20万回再生を超える等、大きな反響を呼んでいます。

ショート動画は、Instagram、TikTokや市の公式YouTubeチャンネル等でご覧頂けます。「中心市街地再開発プロジェクト」の状況が良くわかる動画ですので、是非ご覧下さい。



【市独自物価高騰対策】『一人5千円給付』『よんデジ券』実施

この度、四日市市は、国から割り当てられた「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」16億9千万円に加え、約20億円の市独自財源を投入し、規模を拡大し「市独自の物価高騰対策」を実施します。

今回は、市民の皆さんに影響の大きい生活支援に関する2つの施策【『市民一人あたり5,000円の現金給付』、『プレミアム付デジタル商品券』】について取り上げます。

《一人5,000円の現金給付》

住民登録がある市民を対象に、一人当たり5千円を世帯主に給付します〔ただし、国の物価高対応子育て応援手当(2万円)の対象児童は除く〕。各家庭に確認書(申請書)、プッシュ型支給通知を送付し、4月にプッシュ型支援対象者への一斉入金を行い、新たに振込希望口座を申請頂いた方には随時支給を実施していきます。

《プレミアム付デジタル商品券》

プレミアム率を30%とした総額52億円のデジタル商品券の発行となります。販売単位は1,000円(額面1,300円)となり、一人当たりの購入上限額は30,000円(額面39,000円)となります。5月下旬から申込受付を開始し、登録された市内の店舗にて7月中旬～10月末日までの約3.5ヵ月の使用期間となります。なお、一口あたり、大規模店舗でも使える共通分〔650円〕、中小店舗専用分〔650円〕としています。購入対象者は、市内限定となります。また、スマホ等の通信端末を持たない方への対応として、QRコード付プリペイドカード型商品券も販売します。



■『令和7年人口動態』出生数が4年振りに増加

四日市市の令和7年の出生数が1,956人となり、前年を21人上回り、4年振りの増加となりました。全国的に出生数の減少が進む中、嬉しい結果となりました。本市への婚姻届出数も増加しており、「子育てするなら四日市」のスローガンの下、子育て・教育施策の充実や結婚祝金給付事業、住み替え支援促進事業の実施や、中心市街地再開発プロジェクトの進展等、様々な施策の効果が現れてきています。引き続き、まちの魅力向上を図っていきます。

【第19回美し国三重市町対抗駅伝】2年振り4度目の総合優勝

「第19回美し国三重市町対抗駅伝大会」にて、『四日市市』が2年振り4度目の優勝を果たしました！後半の大逆転、多くの人に感動を与える劇的なレースでした。今回の優勝で鈴鹿市、桑名市に並ぶ最多優勝となりました。

■駅立ち892日到達!! 街頭演説も継続的に実施中。

平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、令和8年4月6日の近鉄川原町駅で892日目を迎えました。いよいよ900日の節目が近づいてきました。また、街頭演説は毎月実施しています。

駅立ち・街頭演説は政治家 森智広の活動の原点です。原点を忘れることなく、様々な活動を通じ、積極的に市民の皆さんに市政情報及び、自らの想いを届け、皆さんと共に四日市市政を前に進めていきます。

駅立ち実績〔2025年11月26日～〕

11月26日 近鉄四日市駅西口	1月 5日 近鉄四日市駅東口	2月18日 近鉄伊勢松本駅	3月26日 近鉄伊勢川島駅
12月 1日 近鉄富田駅西口	1月13日 近鉄霞ヶ浦駅	3月 9日 JR 四日市駅	3月30日 近鉄中川原駅
12月15日 近鉄四日市駅北口	1月26日 近鉄塩浜駅	3月16日 近鉄北楠駅	4月 6日 近鉄川原町駅
12月22日 近鉄富田駅東口	2月16日 近鉄阿倉川駅	3月23日 近鉄桜駅	



森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選〔現役最年少〕
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選
令和2年 57年振りの無投票で 四日市市長選挙2期目当選
令和6年 55,664票の負託を受け、四日市市長選挙3期目当選

【役職】

- ・三重県市長会会長
- ・東海市長会会長
- ・東海地区港湾協議会会長
- ・三重県後期高齢者医療広域連合 連合長
- ・北勢未来会議〔北勢5市5町参画〕 会長



継続的に市政情報発信しています!
森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索